

平成29年3月放送総局長定例記者会見 要旨

○熊本地震から1年 関連番組（木田放送総局長）

4/9 <総合>NHKスペシャル「“地盤リスク”の衝撃 あなたの家はどこまで揺れるか？（仮）」

4/16 <総合>NHKスペシャル「熊本城 再建～サムライの“英知”を未来へ～（仮）」

4/16 <R1>「地震から1年 熊本・大分のいま（仮）」

「“地盤リスク”の衝撃（仮）」では、深さ数十メートルまでの軟らかい地盤が、揺れを増幅するおそれがあることに着目し、新たな脅威となる“地盤リスク”を、その対策の最前線とともにお伝えする。また「熊本城 再建（仮）」では、崩れた石垣の大部分は明治時代に造られたもので、実は江戸時代に造られた石垣は被害が少ないことがわかったことから、400年前の城作りの謎に迫る。さらにラジオ第1では、熊本・大分の多様な「いま」を、熊本出身のコロケさんとともにお伝えする。このほか、「ETV特集」や「ハートネットTV」でも熊本地震関連の内容をお送りする。

（詳細は報道資料を参照）

○4/23 BS1スペシャル「ルポ・ニューヨーク地下鉄7号線～移民たちはどこへ～」

4/29 <ラジオ第1>「池上彰 2017世界を読む トランプ政権100日」（木田総局長）

「ルポ・ニューヨーク地下鉄7号線」は、トランプ大統領が推し進める移民政策に、人々が今、どんな思いで暮らしているのかを探るドキュメンタリー番組。移民の権利を守ろうとする人たちの活動も含め、アメリカで今起きている最前線の動きを伝える。またラジオ第1では、今年国政選挙があるドイツ、フランスでも、トランプ人気を追い風にナショナリズムを打ち出す政党が支持を集めるのかなど、池上彰さんの解説で2017年の世界を展望する。

（詳細は報道資料を参照）

○ラジオ日本 新番組「BOSA I」 日本の防災ノウハウを日本語のほか17言語で世界に発信

（荒木副総局長）

ラジオ国際放送、NHKワールド・ラジオ日本では、4月から毎月1回、日本で起きた地震や津波、台風など災害の経験をもとに、防災ノウハウを紹介する新番組を放送する。海外で暮らす人たちに、地震予知や洪水対策、避難訓練や防災教育、“助け合いの精神”など、日本で実践されている被害を軽減するための取り組みをお伝えする。

（詳細は報道資料を参照）

○4/9 <Eテレ>「日曜美術館 ピカソ×北野武」（安齋副総局長）

北野さんにとって、ピカソは、創作意欲をかきたてられる画家だという。ピカソは20代のころ、「青の時代」と呼ばれる、生と死、貧困と悲しみをテーマに青を多用した作品を残している。北野さんも「キタノブルー」と呼ばれる、青を印象的に用いた映画を撮っている。なぜ青なのか？ スタジオには、ピカソの最高傑作「ゲルニカ」の原寸大複製や最晩年の本物の作品も登場。北野さんがスタジオで何を体感するのか、その発見から浮かび上がるピカソの魅力を堪能していただく。

（詳細は報道資料を参照）

○4/22 <BS-P> スーパープレミアム「潜入！世界最高峰のマジック殿堂 Magic Castle」

（安齋副総局長）

新年度最初の「スーパープレミアム」の舞台は、ショービジネスの本場、アメリカ・ハリウッドにある「マジックキャッスル」。毎晩開催されるマジックショーには、会員、またはその紹介者しか

入場できない。今、世界で最も勢いのある超一流パフォーマー10組が、脱出や空中浮遊、切断などの大技から、おなじみのコインやカードを使うものまで、世界最新、かつ最高のマジックを披露する。BSプレミアムでは3本の関連番組も放送。最新テクノロジーを駆使する若手マジシャンと「いかさま手品師」を自称する元サラリーマンのコラボレーションや、「マジックキャッスル」を夢みて奮闘する若者のドキュメント、マジックの進化の歴史をたどる番組をお送りする。

(詳細は報道資料を参照)